



<意見書>

子どもの新型コロナウイルス感染症対策緩和についての意見書	請願者：北海道こどもの健康を考える会 代表 中野貴子 提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣等 提出者：小川議員 賛成者：阿部議員 山下議員	原案可決	
物価高における農畜産物の適正な価格形成と農業経営の存続に向けた需給改善対策等の強化に関する意見書	請願者：喜茂別農民連盟 委員長 越後功 提出先：内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣 提出者：菊地議員 賛成者：阿部議員、小川議員	原案可決	

令和4年第4回臨時会（11月11日）

審議内容は、以下のとおりです

<専決処分の承認>

令和4年度 一般会計補正予算（第6回）	プレミアム商品券発行事業による330万円増額	原案可決	質問あり
------------------------	------------------------	------	------

<令和4年度補正予算>

一般会計（第7回）	公共施設LED化改修事業、価格高騰緊急支援給付金などにより2446万5千円増額	原案可決	質問あり
-----------	---	------	------

内村町長  
 経常収支比率について、令和元年度が90.5%、2年度では85.7%、3年度が81.9%となっており、経常収支比率のひとつの見方として85%を超えると財政の硬直化が見られる中で改善されてきている。それと、職員の事案を含めて、これまでの副町長としての調整機能とかを、改めて認識したということから、副町長を設置す

内村町長  
 4月から体制を変えている。この機構の変更については職員等とも時間をかけて話し合った中で決定してきているし、まだ1年にならない状況である。今ここですぐにはどうするということ回答がないが、適宜状況を見ながら職員とも話し合っって改革をしていくことは必要なことだと思ふ。

岩部議員  
 私は今まで副町長を置かない条例に反対してきた。しかし、今まで町長は一貫して財政を理由に副町長を置かないとしてきた。10月の決算特別委員会でも財政状況はまだまだ改善していないと言っていたが、町民に納得のいく説明を願う。

山下議員  
 つい先日の決算特別委員会で、財政が多少良くなっているが、まだ置かないと説明を受けたと記憶している。今回に関しては管理職の自殺が最大の原因だと思っている。副町長を置くのは対策として有効ということでも今回議案が提出されたと思うが、一つの課に仕事が集まるとか、機構面も改革しないと、改善されないと思ふがどうか。

喜茂別町に副町長を置かない特例条例を廃止する条例について

そのような形で進めていきたい。

議案の審議要旨

令和4年第4回定例会（12月13日）

町長より以下2件の行政報告がありました  
 ①まちづくり懇談会の報告について  
 ②農作物の収穫状況について  
 議員より以下2件の一般質問がありました  
 ①胃・大腸検査の奨励及びレントゲン更新について  
 ②本町の農業者に対する支援について  
 審議内容は、以下のとおりです

<令和3年度決算認定>

一般会計・国民健康保険特別会計 介護サービス事業特別会計・後期高齢者医療特別会計 簡易水道事業特別会計・下水道事業特別会計	原案認定	決算特別委員会の審議要旨 8ページ
---	------	----------------------

<条例廃止>

喜茂別町に副町長を置かない特例条例	喜茂別町に副町長を置かない特例条例を廃止する条例の制定についての審査特別委員会を設置し審査することを決定
-------------------	--

<条例改正>

喜茂別町議会議員及び喜茂別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	物価変動を鑑み、選挙運動用自動車、選挙運動用ビラ、選挙ポスターの公費負担限度額引き上げ	原案可決	
職員の給与に関する条例	勤勉手当の引き上げなど	原案可決	
特別職の職員の給与及び旅費に関する条例	期末手当の引き上げ	原案可決	

<契約の変更>

工事委託に関する協定	令和3年6月17日付で締結したきもべつ浄化センターの建設工事について、中央監視装置の工事費増額に伴い767万円増額	原案可決	
------------	---	------	--

<発議案>

喜茂別町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	内容：人事院勧告に基づく期末手当の改正 提出者：菊地議員 賛成者：小川議員 山下議員	原案可決	
------------------------------------	---	------	--

<令和4年度補正予算>

一般会計（第8回）	燃料費・電気料金高騰に伴う各施設維持管理費の増額、農業者支援事業費の増額などにより、1億893万9千円増額	原案可決	質問あり
国民健康保険特別会計（第1回）	基金積立金などにより184万円増額	原案可決	
後期高齢者医療特別会計（第1回）	広域連合事務費負担金確定などにより131万円減額	原案可決	
簡易水道事業特別会計（第3回）	消費税還付金などにより1285万6千円増額	原案可決	
公共下水道事業特別会計（第3回）	給与改定による人件費の増額、事業費確定による減額などにより656万円減額	原案可決	

**山下議員**

職員との話し合いで検討していくという話だが、コミュニケーションが果たしてうまくいっているのか疑問である。

**内村町長**

どういったところを捕まえてコミュニケーションがという話かはちよつとわかりかねる。日頃からある程度、声がけしていると思っているし、また何かあれば相談をしていただけではいけないかと考えている。

**山下議員**

どういったところがというと、要は管理職が自殺しているわけである。

その人が町長に対して何らかの助けを求めたり、その人も副町長を置かれることを望んでいたとも聞いているし、そういった面ではやはり業務的に一人で抱え込んでいたところがあったのではないかと私は思っている。それも含めて、その他の職員も副町長を置くことに対してどう思っているのかとか、あるいは、現在の機構に対してどう

思っているのかというのをきちんと腹を割って話すことができていないのか。

**内村町長**

当該職員とは、事あるごとにいろいろ話をさせていた。管理職として下の職員の部分

での仕事の割り振りについても気がついた段階で私の方からも機会を設けてお話をさせていたことある。何が原因か計りかねるが、自分では気をつけてやってきたつもりである。

それが十分であったかどうかについてはまた検証もしていかなければならないと思う。

今後においても、職員とのコミュニケーションを積極的に図っていききたい。

**山下議員**

どうやって副町長を選ぶのか。全国から公募するのが一番いいのではないか。

**内村町長**

どういう形で副町長を選任し

それが今ここへきて、手のひらを返したみたいに副町長を設置すれば、問題の解決の一助になるみたいなので、そんな言葉の軽い答弁を議員にしていたって、死んだ人の命かえってこない。もう少し、ことを慎重に考えるべきでないかと思う。

**内村町長**

状況が変化しているということと、それから副町長を置いて全てが解決するという簡単な話ではないと思うので、様々なコミュニケーションも含めて今後体制を再構築していく。その一つとして副町長を置いて進めていきたいので、ご理解をいただきたい。

**松田議員**

到底ご理解なんてできない。前回の廃止する条例の提案にあたって、職員との意見交換はしたのかという問いに対して、特段職員には確認なんかはしてない。

今回だつて結局同じ流れの中

で出てくる訳でしょ。その辺に町長の最大の危機管理能力のなさを感じざるを得な

ていくかについては、まだ定まったものはない。

全国に向けての一般公募も一つのあり方だと思ふ。

**阿部議員**

10月の決算特別委員会において副町長を置く判断をする必要があるのではないかと同僚議員の発言に対して、財政が厳しいという説明をしている。

1か月足らずで副町長を置かなければならない理由とは何か。

**内村町長**

財政以外の部分の理由については、11月に発生した職員の自殺の関係も含めて、職員の調整役としての副町長の役割が大きいと改めて認識したので、今回提案をした。

**小川議員**

自殺という言葉が出てきていたが、この出来事がなければ今回のタイムリングでこの議案が出ていなかったのか。

**内村町長**

このことがなければ、提出に

い。

管理職に対しては「管理職になるには資質等が当然あつてしかなるべきだし、そんなことはわかつて当たり前だ」みたいなくだりが答弁の中にある。

こういう態度が、やっぱりことを危うくしている大きな原因でないかと思う。

今回庁舎内で、副町長を置くというコンセンサスは得ているのか。

**内村町長**

管理職との意見交換等の中、副町長の配置については多くが望んでいたもので、コンセンサスが取れていると認識をしている。

**松田議員**

町長は「職場に笑顔を」という公約を掲げているが、どうやって達成するのか。

**内村町長**

働きやすい職場づくりという観点から、この4月から機構改革をした。

今後は、人づくりという部分で、研修関係の充実を図りなが

は至らなかつたのではないかと考えている。

**菊地議員**

副町長を置いても全てが解決するものではなくて、全職員とのコミュニケーションを日常的に取る努力が最も必要な事項だと思ふ。

副町長を置いたあと、役場の業務体制の改善と業務の完全な遂行について、どのように考えているのか。

**内村町長**

副町長を置いて全てが解決するというのではないと承知をしている。

職員一体となつて、進めていかなければならないと思つている。

機構も不断の改善の努力を続けていかなければならないと思うので、職員、管理職含めて様々な意見交換等を行つていきたい。

**館内議員**

財政が本当に好転しているのか。

ら、職場での笑顔づくりを進めていければと考えている。

**松田議員**

現在職場に笑顔があると思ふか。

**内村町長**

少なくとも、威圧的なものとかは感じられないような職場づくりに努めてきているつもりである。

今現在でも休暇それから様々な制度の部分含めて、進めてきていると考えている。

喜茂別町に副町長を置かない特例条例を廃止する条例の制定についての審査特別委員会を設置し、これに付託して審査することと決定しました。

それと私の見たところ職員同士のチェック機能が全然働いていない。

**内村町長**

財政的に改善してきていることは、先ほどの経常収支の状況から言つて、またその他の指標を見てもあると思う。

ただ本当にそれが継続的に今後のまちづくりの中で十分な財政状況かと問われれば、不断の財政健全化に対する取り組みを進めていかなければならないと認識はしている。

チェック機能の関係についても、職員の様々な形でのチェックの体制をとつてきているつもりではあつたが、副町長として事務方の関係を再構築していく必要があると考えている。

**松田議員**

去年の3月に各議員に対しての答弁で何を言つたかを一度でも精査したことあるのか。

「私が補える部分は全力でやつていく」と答弁もしている。職員が自殺することもあり得るという認識も町長示している。



## 一般質問 要旨

一般質問とは、議員個人が町政全般について町長等に質問し、適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。



### 胃・大腸検査の奨励及びレントゲン更新について



阿部昭司議員

#### 阿部議員

令和3年度より現在の医療法人による町立クリニックの指定管理が始まり1年数か月が経過している。

この間、超音波画像診断装置（エコー）や、心疾患等の迅速スクリーニング機器（コバス）が導入されている。

本年度10月より胃カメラ・大腸カメラの設置により検査が可能となっている。

私自身も大腸検査を受診した事から大きな特徴として従来の空気ではなく、炭酸ガスを使用する事で腹の張る時間が減少さ

れた。

また、腸管内の移動では水を注入することで痛み等は無く検査も1時間程度で終了するため日帰り検査が容易にできる。

これらを踏まえて行政も総合健診の項目の中に加え、町民の方々へ周知奨励する必要があると思う。

一方で昨年11月総務常任委員会のクリニック視察では診察の現状など院長と意見交換の際、現在使用のレントゲンは2013年に導入されており耐用年数は7年とあることから老朽化が指摘されている。

町民の健康を守ることは行政の最大の責務であり早急の更新が必要だと思うが、導入について町長の考えを伺う。

#### 内村町長

これまで町立クリニックで内視鏡検査ができなかったため、他町村の医療機関で受診するため、移動時間等含めかなりの時間がかかっていた。

しかし町立クリニックにおいて内視鏡検査が行えるようになると、移動等の負担を大きく減らすことが出来る。

総合健診を含めた各種健診及び検査について早期実施に向けて協議を行い、周知・奨励を行って行きたいと考えている。

現在、レントゲン検査機器の更新に向けた購入及びリースについて資料を収集している。より確実に早い検査を可能にするためにも、来年度以降早い時期に整備できるよう検討協議して行きたいと考えている。

### 本町の農業者に対する支援について



菊地光男議員

#### 菊地議員

コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻等の影響を受け穀物相場が高騰し、食糧事情は世界的な危機に瀕している。連日の報道等取り上げられており、我が国においても安定的な食糧の確保が重要な課題となっている。

また、日本においては円安ドル高が続く中で物価の高騰が一段と顕著になっており、国民生活に大きな影響を及ぼしている。

私は、こうした状況下において、国は、我が国の食の安定確保に日々努力している農業者に対する支援策と言うものが乏しいのではないかと感じている。

特に、最近の世界情勢が不安定の中で、農業経営に欠かすこ

とのできない燃油・肥料・飼料などの生産資材の高騰が続いており、本町の農業者もこれらの影響を大きく受けていると推察する。

国は、ここ数年、コロナウイルス感染症の拡大に伴い、これらの影響を受けた国民に対する経済対策としての支援を行ってきた。

しかしながら、支援策の多くは一時の生活支援と観光・飲食など営業関係に関するものが多く、農業者に対する支援が見当たらない状況であり、営業関係者からも国に対して多くの要望が出されていると聞く。

現在、本町では次年度予算の編成作業が進められていると思うが、私は、次年度において農業者に対する何らかの支援が必要ではないかと思う。

そこで、農業者の厳しい現状を踏まえ、支援の必要性について町長に伺う。

#### 内村町長

国では、事業者に対して経営継続補助金や持続化給付金により事業継続支援を行ったところであるが、農業者に対してはこれらに加え、次期作付けを断念することのないよう高収益作物次期作支援交付金により営業継続を支援してきた。

さらに本年は、国外情勢の影響による資材等の価格急騰を受け、農業経営が逼迫する危機的状況となり、8月には喜茂別農民連盟、また10月にはようてい農業協同組合からそれぞれ経営安定、影響緩和に対する要請があった。

本町としては、国や北海道の動向に注視し、近隣町村と支援に関する意見交換を行いながら、支援策の検討を進め、秋には国や北海道の肥料価格高騰対策が明らかになったことから今期定例会で支援策の予算を計上し、農業経営の負担軽減、経営安定の一助となる取り組みを進めたいと考えている。

### 議会を傍聴される方へのお願い

- 手洗い・咳エチケット・マスクの着用
- アルコール消毒液での手指の消毒
- 体調がすぐれない方は傍聴をご遠慮願います。

次の定例会は  
3月上旬を予定しております。  
町民の方の傍聴をお待ちしております。

日程は、IP告知端末又は議会事務局  
(TEL33-2217) で確認ください。

来年度予算は編成途中だが、化学肥料使用の低減に向けた支援や営農資材等に対する支援、また、農地条件改善に資するメニューの追加など、農業経営の負担軽減や経営安定、営業継続につながるような事業を取り入れたいと考えている。



# 決算特別委員会

## 【一般会計】

### 岩部委員

執行方針に、地域おこし協力隊と外部人材を活用しアドベンチャートラベルを基軸とした新たな基盤づくりの推進とあるが、どのように進めているのか。

### 木下まちづくり振興課長

昨年度末に地域おこし協力隊に1名の女性の方が入っており、尻別岳と羊蹄山の登山道の草刈りなどをまず整備し、登山客などの呼び込みというところで活動をしていただいている。

### 岩部委員

町立クリニックの看護師が何人も退職していると聞けが、医療体制に問題はないのか。

### 東原元気応援課長

看護師が不足になっていると伺っており、各方面に募集をかけたりにして、なんとか最低限の

体制を確保している。

### 岩部委員

令和元年度から毎年約500人ずつ患者が減っているが、町立クリニックの経営的にはどうなのか。

### 東原元気応援課長

経営的に厳しくなると思うが、指定管理者と相談をしながら検討していきたい。

### 岩部委員

経常収支比率、将来負担比率、基金残高の推移をみると2年連続で改善される傾向にあると思う。

私は本町に副町長を置くべきだと考えているが、この数字を見て町長はどのように考えているのか。

### 内村町長

まだまだ財政的には予断を許さないと考えているし、今の状態の中で少し検討をしていかな

ければならないと考えている。

### 山下委員

執行方針では剣道とか町のスポーツ資源を活用しながらやっていく話があったが、新たにまたアドベンチャートラベル担当の人材の制度を活用する可能性もあるのか。

### 内村町長

協力隊だけではなくて人材の招へいも考えていく必要があると思う。

### 山下委員

総合計画によると都市部からの移住件数目標が令和6年で60件となっているが、令和3年度は何件あったのか。

### 木下まちづくり振興課長

26名である。

### 山下委員

移住の問い合わせ件数、公営住宅入居率、テレワーク利用者

数はそれぞれどうだったのか。

### 木下まちづくり振興課長

移住の相談件数は6件、テレワークを行った延べ人数は10名になっている。

### 秋山建設課長

公営住宅の入居率は80.6%となっている。

### 山下委員

執行方針に拠点分散を模索する企業との連携強化により柔軟な働き方を備えた雇用の創出を検討するところがあるが、進んだのか。

### 木下まちづくり振興課長

そういった企業との話が進んでいるということはまだない。

### 山下委員

本町の保育所に通わせたくてわざわざ移住する人がいるという話も聞いており、保護者からも評判が良いという話も聞いている。

本町の保育所の優れている部分はどこか。

### 小熊保育所長

体力作りを一番に取り入れている。

### 山下委員

小学校や中学校でも、他の自治体に比べて優れていると自負している部分はあるのか。

### 細田教育長

ICTの環境づくりについては北海道の中でも相当進んでいると教育局からも評価を頂いている。

ただICTを導入することが目的ではなくて、それを有効活用して意欲が上がったのか、効果があったのか、必ず点検をして進めていただくようにしている。

オンライン授業の取り組みも北海道の中でもいち早く取り組んでいる。

本町の場合はタブレットを毎日持ち帰れるので、急遽学校を休むという場合でもすぐオンライン授業に切り替えられるという環境を整えており、学びの保

障の部分は、かなり進んでいると思っっている。

### 山下委員

本町は昨年度の学力テストの結果も非常に良かった。あえて本町の学校に通わせたいと思わせるような教育を行うことが大切だと思う。

### 山下委員

これは大きな資源だと思うし、それを効果的に告知することが重要と思うが、町長はどう考えているのか。

### 内村町長

教育も一つの外部からの人材を呼び込む大きな要素になり得るのではないかと私も思う。もっとPR出来るような形も考えながら、今後進めていければと考えている。

### 山下委員

今年度が最終の山村活性化対策事業で開発した「じゃがちょこっと」の利益はいくら出たのか。

### 木下まちづくり振興課長

2百81万9千5百75円になる。

### 山下委員

補助金が切れた令和4年度以降も引き続き売っていく持続可能な体制は出来ているのか。

### 木下まちづくり振興課長

観光協会と協力して持続して販売していく予定としている。

### 小川委員

町営住宅の件で、空き室があることよって防犯上で不安に思ったり、住んでいて寂しいといった話を聞いたことがある。入居率を上げるために町として考えていることや動きはあるのか。

### 秋山建設課長

所得の問題や、保証人も要するという問題もあるので、全部埋まるのがベストなのだが、あくまでもルールの中で、埋めていきたいと思っっている。

### 小川委員

昨年度の決算特別委員会で廃プラスチックの処理のルールが急に厳しくなったという質問をした。

令和3年度の処理実績を見ると、廃プラスチックゴミは少なくなったけど燃やせるゴミの量が増えている。おそらく今までバンバン捨てていた廃プラスチックを、燃やせるゴミに入れて出す人が増えたのが要因なのかと思う。これについてどう考えているのか。

### 井原住民課長

確かに令和3年度の処理実績を見ると、廃プラの分別の不徹底の部分が燃やせるゴミに入っただかは、一概には言えないが、住民の方々の協力なしではできないので、ご理解いただけると、収集業者とも連携とりながら継続して努めていきたい。

### 小川委員

本町に家を作って移住したいという話を聞けが、町のどこに空いている土地があるのか、どこに問い合わせたらいいかわからなくて結局近隣町村に家を建てたという話も聞き、もったいないなという気もしている。

例えば町に問い合わせがあったときに空き地の紹介等をすることは可能なのか。

### 齊藤総務課長補佐

10月より空き家バンク制度を開始し、その中で空き家と空き地情報を住民の方に紹介してくださいと周知をしている。

### 阿部委員

決算書を見るとウサパラ号の運営費が1千1百万円、車両更新に1千8百万円、合計2千9百万円の金額を支出している。

利用者の人数については事業者より毎月月報が提出されていると思うが、人数の確認はしているのか。

### 木下まちづくり振興課長

委託事業者から毎月月報が上がってきている。

それに基つき毎月審査を行って委託料を払うという仕組みをとっているので、利用者人数については上がってきている。

### 阿部委員

ウサパラ号のルートから外れた住民については、病院に徒歩

### 阿部委員

基金は、予想もしない疾病が出た時に取り崩されると思っている。

基金を支出することがあるとすれば、どのようなことを予想しているのか。

### 井原住民課長

後志広域連合及び北海道後期高齢者医療広域連合が保険者となっているので、引き続き連携して進めて参りたい。

### 山下委員

健康診査受診率が大きく落ち込んでいるが、理由は。

### 井原住民課長

新型コロナウイルスの感染拡大による健診の受診控えというものも繋がっているのかと思う。

### 山下委員

コロナによる受診控えは、おそらく全道的にそういう傾向だと思うので、それだけではないと思う。

健康診査の料金が令和3年度

で通院されている方、タクシーを利用されている方、様々な形でウサパラ号を利用できないという住民からの指摘もある。

費用対効果を考えると、今後思い切った抜本的な変更も視野に入れる必要があると思うし、また私が再三言っているデマンドタクシーも検討する時期に来ていると思うがどのように考えているのか。

### 内村町長

ルートから外れた方々の対応というのは行っていかなければならぬと考えている。

それがデマンドという形がいいのか、若しくはタクシーの利用券みたいなものがあるのか、時間が少しかかるかもしれないが、利用の実態も踏まえて、また対象の方の意見も頂きながら検討を進めていきたい。

### 菊地委員

令和3年度決算の状況を見ると、数値上は良好となっている。

しかしながら本決算における数値は新型コロナウイルス感染症対策に関わる交付金や地方交付税が10%程度伸びたことによ

に上がった記憶があるが、それについてはどう考えているのか。

### 井原住民課長

具体的な部分については、ちよつと解析はできてない部分がある。

### 山下委員

今後どのような対策をして、受診率の向上を目指すのか町長の考えを伺いたい。

### 内村町長

担当課含めて、検討をしたい。

#### 【お詫びと訂正】

第184号（令和4年12月発行）の審議された議案と結果で、専決処分の承認の年号に誤りがありました。

令和3年度とありますが、正しくは令和4年度でした。お詫びして訂正いたします。

るものと考えられ、今後において新型コロナウイルス感染症の収束とともにこうした財源は見込むことができなくなる。

今後における町財政の健全化を維持していくという課題について、町長はどのように考えているのか。

### 内村町長

不断の財政の見直し、そして様々な経費の削減が必要になってくると考えている。

あわせて人口の減少にどういった形をとっていくかということがあると思う。そういった意味においては削る部分だけではなくて、やはりかけるところにはかけていくことも必要だと思っている。増やしていく部分では、ふるさと納税への取り組みも強化していきたい。

### 菊地委員

ふるさと応援基金は、国の制度見直しにより、本町への寄附金額が年々減少傾向をたどっている。

増額に向けての対策等、支援等の必要性について伺いたい。

### 内村町長

町内で魅力的な返礼品を少しでも多く作っていくことよって、ふるさと納税の額が上がると考える。

今後できるだけ多くの町内の事業者者に返礼品の開発を進めていただけるような支援のあり方を検討したい。

### 【国民健康保険特別会計】

### 阿部委員

基金残高が3千9百万の保有高があるが、この財源が適正なのか。

### 井原住民課長

基金の使用については条例で後志広域連合に払う分賦金以外の用途で使用できないことになっている。

北海道では令和12年度をめどに、保険税の全道統一化を目指しており、基金のあり方については、保険者である後志広域連合、国民健康保険審議会や議会と相談しながら検討して参りたい。

### 寄付行為の禁止

議会議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。また、有権者が求めてもいません。ご理解をお願いいたします。



### 表紙写真を募集します。

あなたの写真が議会だよりの表紙になります。詳しくは議会事務局まで

# 議会の動き

令和4年11月1日～令和5年1月15日

月	日	行 事	出席者	場 所
11	2	神恵内戸長設置150年消防組組織140年記念式典	議長	神恵内村
	4	議会広報編集委員会	全委員	
	7	後志町村議長会議長研修（～9日）	議長	長野県
	9	全国町村議会議長全国大会	議長	東京都
	10	後志町村議会議長会中央要望	議長	東京都
	11	第4回臨時会	各議員	
		全員協議会	各議員	
	14	令和4年度地方財政・金融講演会	議長	札幌市
	15	全国過疎連盟第54回総会 北海道支部中央要望（～16日）	議長	東京都
	21	町議会議員研修（～24日）	各議員	熊本県他
	24	北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会	議長	札幌市
		北海道町村議会議長会 理事会	議長	札幌市
	28	総務常任委員会	全議員	
		全員協議会	各議員	
30	後志広域連合議会 議会運営委員会・定例会	組合議員	倶知安町	
12	7	議会運営委員会	各委員	
		喜茂別町功労者表彰式	各議員	
	13	第4回定例会	全議員	
	22	羊蹄山麓環境衛生組合議会 定例会	組合議員	倶知安町
		羊蹄山ろく消防組合議会 定例会	組合議員	倶知安町
1	6	喜茂別消防出初式	副議長	
	8	喜茂別町成人式	副議長	
	10	議会広報編集委員会	全委員	
	12	羊蹄山麓町村議会正副議長会 定期総会（～13日）	正副議長	札幌市

## 編集後記



早いもので、議員の任期が終わろうとしています。

一期目だった私としては、わからないことだらけではありましたが、わからないなりに一生懸命勉強し、周りからたくさん教えてもらい、非常に充実した4年間でした。

現在、地方議員のなり手不足が全国的な社会問題となっております。

女性が少ないことも問題となっておりまして。

本町においても前回はぎりぎり選挙になりましたが、前回は無投票でした。

女性議員はいません。

無投票となると、議員に緊張感がなくなり、勉強や活動がおろそかになることが予想されます。

さらに、町民の議会に対する関心が低下してしまうのではないのでしょうか。

なんとか次回も選挙戦となることを期待しております。

議会広報編集副委員長

山下 純